

## はじめに

「鉄道模型シミュレーター」(Virtual Railroad Models: 略称 VRM) は、1998 年にアイマジック社が発売した、Windows 用の「鉄道模型シミュレーション・ソフト」です。

「空間的な制約」や「経済的な問題」などから、現実には製作困難である鉄道模型のレイアウトを、PC 上で、思う存分楽しむことができます。

\*

具体的には、「3D 仮想空間」に、「線路」や「ストラクチャー」などのパーツを並べてレイアウトのデザインを確認したり、「列車」を配置して、線路上を運転したりできます。

このように、鉄道模型のレイアウトを検討したり、レイアウトの見え方をシミュレーションするといった基本的な用途以外にも、「鉄道シミュレーター」として列車を運行することを目的にデータを作ることもあります。

また、「運転台視点」を利用して、純粹に「鉄道運転シミュレーション」として遊ぶこともできます。

\*

「Windows95/98」の登場から 20 年以上経ち、「鉄道模型シミュレーター」は PC 技術の発展とともに進化してきました。

最新の「NX システム」は、最新 PC のハードやプログラミング技術を多分に盛り込んで実現したものです。

\*

「車両」「線路」「鉄道施設」「建物」「自然」…など、数多くのパーツのリアルさやディテールの細かさは、こだわりのある鉄道ファンでも、十分に満足できる作品になっています。

鉄道ファンでも、そうでなくても、ぜひ一度、仮想空間にレールを敷き、街を作り、自分だけの列車を走らせてみてください。

I/O 編集部